

第5学年〇組 道徳学習指導案

指導者 〇〇 〇〇

1 主題名 思いやり 高2ー(2) 思いやり
資料名 「キミらしく奏でるまで」(NHK道徳ドキュメント)

2 主題設定の理由

○ 本学級の児童は、友達とうまくコミュニケーションを取れない児童やわかば学級からの交流児童がいる。普段はできないことや苦手なことに対してゆっくり待ってあげたり注意をしたり、うまくできるようなアドバイスをしたりしている。一方で自分の意見と合わないときや自分もうまくいかないときは相手のことを攻めたり、相手の傷つくことを口走ったりすることがある。これは相手の立場に立ってものごとを考えたり、相手のことを認め受け入れるというところが具体的にどうしたらいいのか分かっていないと考えられる。そこで、本題材を取り上げることによって障害をもっている人に対してだけでなく人はそれぞれ違う個性を持っており、その人と自分がどのように付き合っていくことが一番良いのかを考え、実践していこうとするきっかけにするためには意義深いと考える。

○ 本主題は、「広い心で自分と異なる立場を大切にすること」を主なねらいとしている。また、誰に対しても差別や偏見を持たず、公正・公平・正義の実現に努めることもねらいとしている。主人公は知的障害をもっている人とどのように接していけばいいかを示唆しているが、誰に対しても「相手の立場に立って考える」ことの大切さも訴えている。わかば学級の子ども達だけでなく人とうまくコミュニケーションを取れない子ども達に対してどのように接すればいいかを考えることが、公平・公正な見方、考え方の素地を作ることができるのではないかと考える。

○ 本資料は、知的障害をもつ子ども達にピアノを教える人がどのようにすれば子ども達もピアノに興味を持ち自分からピアノを弾くようになるか長い年月と試行錯誤を重ねて見いだしていこうとする話である。本時指導にあたっては、先生の気持ちに視点をあて、普通通りの指導ではなかなかピアノの練習をしようとしないう子ども達にどのようにして興味を持たせるか、そのための努力を知ることなどでなぜそこまでするのか、そこまでできるのかを考えさせる。

導入では、「障害をもつ子」だけでなく「違う立場の人とどのように付き合っていけばいいか」を考えながら、VTRを見るように指導する。

展開1では、先生の心情に視点をあてる。最初は自分のやり方ではうまくいかなかったこと。そのときの成田さんの心情をハート図で表す。その後の先生の様子を振り返りながら、「なぜ、そこまで続けることができたのか」というインタビューをしたとしたらどんな答えをするか考えさせる。子供たちの「畳の目ほどの進歩」がうれしい・そこに出会いたい、という先生の心情に迫らせる。このときは先ほどのハート図がどう変化したか、なぜ変化したかを発表させる。

展開2では、これまでに生活を振り返り、「相手気持ちを大事にしてうまくいったこと・自分がうれしくなったこと」を想起し、人と向き合ってもうまく付き合うということを考えさせたい。

終末では、担任が4月当初クラスのみんなどどのように接していいか悩んでいたことを話しその時も、一人一人の違いを考えながら接し方を変えていること知らせ、今後の実践へとつないでいきたい。

3 本時のねらい

広い心を持ち、自分と異なる立場の大切にすることの心情を育てる。

4 本時 平成21年6月25日(木) 第3校時 第5学年〇組教室において

5 準備 VTR・先生の写真・道徳ノート・言葉のカード

6 展開

| 段階 | 学 習 活 動 | 教 師 の 支 援 |
|-------------|---|---|
| 導 入 | <p>1 成田さんの写真を見る。</p> <p>○ 成田さんの立場で番組を見る。</p> <p style="text-align: center;">— めあて —</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 相手の立場に立って親切にする心について考えよう。 </div> | <p>○ 成田さんに関心を持たせ、大切にしていることは何かという視点で視聴させる。</p> |
| 展 開 | <p>2 ビデオを見て、成田さんの気持ちについて話し合う。</p> <p>(1) 教え始めた頃の成田さんの気持ちを話し合う。</p> <p>○ 5本指でひけない。</p> <p>○ イライラする。 ハート図 赤</p> <p>○ 声を荒げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 成田さんが、ハッとして気付いたことや大切にしていることを考えましょう。 </div> <p>(2) 成田さんが息子さんのレッスン中に気付いたことを話し合う。</p> <p>○ 自分のやり方が間違っていた。</p> <p>○ 息子は中指の動きがいい。</p> <p>○ ねばならないという考えを捨てる。</p> <p>○ できることから始めよう。</p> <p>○ 息子の立場、目線で考える。</p> <p>(3) 成田さんが大切にしていることについて話し合う。</p> <p>○ 常識にとらわれない。</p> <p>○ 一人一人に合った指導。</p> <p>○ あせらずにじっくりと待つ。</p> <p>(4) 成田さんの気持ちをハート図に表す。</p> <p>○ 20年も音楽会が続いている。</p> <p style="text-align: center;">ハート図 青</p> | <p>○ 成田さんは知的障がい者にピアノを教えている人であることを知る。</p> <p>○ 音楽の楽しさを味わってほしいという願いをもっていることを始めに押さえておく。</p> <p>○ 成田さんの気持ちをとらえさせるために、息子さんのレッスン中の挿絵を提示し、その心情をハート図に色塗りさせる。</p> <p>○ 成田さんの心情に迫らせるために、その気持ちを道徳ノートに書かせた後、息子さんのレッスン中の役割演技を取り入れる。</p> <p>○ 価値に自ら迫らせるために、自責の念からよさの発見へ、更に考え方の変容へ意図的指名を行う。</p> <p>○ 成田さんが大切にしていることに気付かせるために、色つきの音符、小さな音楽会、千沙子さんの写真等を提示し、その心情を言葉カードで示す。</p> <p>○ 成田さんの心情の変化を板書を振り返ることから気付かせる。</p> <p>○ 音楽の喜びを味わっていると思うからハート図の色が青に変わった。</p> |
| 展 開 2 | <p>3 自分の生活を振り返り、「相手の立場に立って親切にできたことやこれから実践しようと思うことを、道徳ノートに書いて発表する。</p> | <p>○ 何人かに発表させ、参考にさせる。</p> <p>○ 特別支援学級の児童への気持ちが出たときはみんなで考える。</p> <p>○ 誰に対しても相手の立場に立つことの大切さを実感させるコメントをするようにする。</p> |
| 終 末 | <p>4 成田さんの話を聞く。</p> | <p>○ 「曇りの目のような進歩を喜ぶ日が来る」という言葉を胸に刻ませ、相手の立場に立って考え行動することは、自分も喜びを味わい、自信がもてるようになるという実践への意欲を促す。</p> |

めあて

相手の気持ちを大切にすることについて考えよう。

キミらしく奏でるとき



息子さん

ピアノを教えている・・・

イライラ

め

不満そうな顔

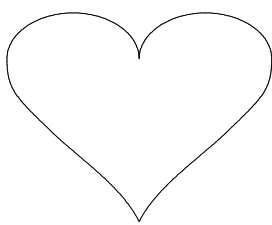
できない

じ

ひかない

したくない

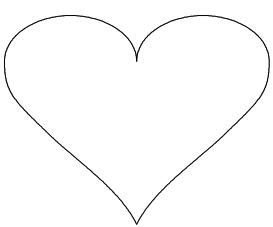
は



一 成田先生が、今までピアノの練習を続けてきたのは、

どんな気持ちがあったからだろう

- ・子どもに楽しくピアノを弾いてほしい。
- ・その子なりの出来方でいい。
- ・少しでも上手になるとうれしい。



豊の目 ほどの進歩が嬉しいと思える。

教えるのではなく、教えてもらう立場で向き合っていきたい。

二 相手の気持ちを大切にしようという気持ち

- ・算数で分からないところを教えて「ありがとう」と言われた
- ・リコーダーの練習で、音階を覚えてくれながら一緒に練習してできるようになった。

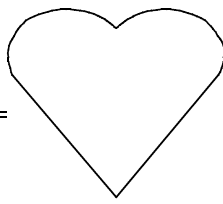
キラらしく奏でる日まで

めあて

相手の立場を考えて親切にする心について考えよう

○ 成田さん、息子さん、白鳥さんの今の気持ちは？

はじめ

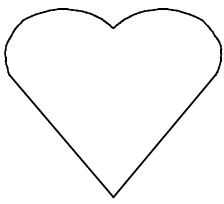


一 成田さんがピアノを教えて、気付いたことや気持ちを書きましよう。



○ 成田さん、息子さん、白鳥さんの今の気持ちは？

今



二 相手の立場に立って親切にできたことやこれから実行していこうと思ふことを書きましよう。

Four horizontal dashed lines for writing the final reflection.

7 板書計画

めあて
相手の立場に立って親切にする心について考えよう。

成田さん



知的障がい者に
音楽の楽しさを味わってほしい。

キミらしく奏でる日まで

5本指を使ってひくやり方。
イライラ。
声をあらげる。



○ 成田さんがピアノを教えている時にハッと気付いたことや大切にしていることを考えよう。

- ・自分のやり方がまちがっていた。
- ・中指の動きがいい。
- ・ねばならないという考えを捨てよう。
- ・できることから始めよう。
- ・息子の立場で、目線で考えよう。

- ・常識にとらわれない。
- ・一人一人に合ったやり方。
- ・あせらずにじっくりと待つ。



二十年間続く音楽会。

自分の生活をふりかえって







8 道徳ノート

めあて
相手の立場に立って親切にする心について考えよう。

成田さん



○ 成田さんがピアノを教えているときにハッと気付いたこと
や大切にしていることを考えよう。



○ 相手の立場に立って親切にできたことやこれから実行しようと思うことを書きましょう。
